

編集後記

平成 22 年度三重看護学誌 (MNJ) 第 13 巻を、無事発刊することができました。これもひとえに、ご執筆いただいた方々、お忙しい中査読をしてくださった先生方、細やかなサポートをしてくださった事務の方々のご協力の賜物であると、編集委員一同、心より感謝申し上げます。

2010 年は、昨年に引き続き世界経済の悪化や日本経済の低迷は就職難を来たし、大学卒業者の就職内定がとれない若者が急増しています。また、『企業をはじめとするあらゆる組織が社会の機関であり、組織が存在するのは自らの機能を果たすことによって、社会・コミュニティ・個人のニーズを満たすためである』と、マネジメントの理念と手法が社会貢献することを記述した「P・F ドラッカー」の著書が店頭に並び話題を呼びました。看護基礎教育においても、新カリキュラムを実施中、新たな課題が取りざたされ、社会の変化・医療改定に伴う変化が続いていると思われます。

本学看護学科において、学内講師制度導入を機に助教の先生方の投稿や学科会議でご意見がありました学外の方々への投稿を呼びかけましたところ、多数の原著をはじめとする投稿がありました。査読の先生方のご意見と、過去の三重看護学誌の実績をみながら、今後、三重看護学誌のさらなる発展を期待し採用させていただきました。

世界変動は日本社会に影響し、私達が担う教育や研究の課題として続きますが、三重看護学誌がその役割を果たし、看護学科がさらなる発展を遂げますことを祈念しています。

(文責 清水房枝)

編 集 委 員

清水 房枝・村端真由美・北川亜希子 後藤 姉奈

三 重 看 護 学 誌

第 13 卷

印 刷	2011年3月15日
発 行	2011年3月15日
発 行 者	三重大学医学部看護学科 〒514-8507 津市江戸橋2丁目174番地 TEL (059) 232-1111(代) FAX (059) 232-8065
印 刷 所	伊 藤 印 刷 株 式 会 社 〒514-0027 津市大門32-13 TEL (059) 226-2545(代) FAX (059) 223-2862
